

039 ベトサダの池で病人をいやす

ヨハネによる福音書 5 : 1~18

01 その後、ユダヤ人の祭り（→過越祭）があったので、イエスは（カファルナウムから）エルサレムに上られた。

02 エルサレムには羊の門の傍らに、ヘブライ語で「ベトザタ」（→ベテスタ、ベトサイダとも表記され、現在の聖アンナ教会の下にある池）と呼ばれる池があり、そこには五つの回廊（長く折れ曲がった廊下）があった。

03 この回廊には、病気の人、目の見えない人、足の不自由な人、体の麻痺した人などが、大勢横たわっていた。



03b-04<底本に節が欠けている個所の異本による訳文>

彼らは、水が動く（→湧き水のため時々水面が動いた、天使が揺らすと信じる者もいた）のを待っていた。

それは、主の使いがときどき池に降りて来て、水が動くことがあり、水が動いたとき、真っ先に水に入る者は、どんな病気にかかっている、いやされたからである。 †

05 さて、そこに三十八年も病気で苦しんでいる人がいた。

| タイトル(書名) | 章:節 聖句 [検索対象総数 : 3 / 聖句等の総数 33250 <三十八年>3個] | 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 三十八年] |
|-------------|---|--|
| K 申命記 | 2:14 カデシュ・バルネアを出発してからゼレド川を渡るまで、三十八年かかった。その間に、主が彼らに誓われたとおり、前の世代の戦闘員は陣営に一人もいなかった。 | |
| K 列王記上 | 16:29 オムリの子アハブがイスラエルの王となったのは、ユダの王アサの治世第三十八年であった。オムリの子アハブは、サマリアで二十二年間イスラエルを治めた。 | |
| S ヨハネによる福音書 | 5:5 さて、そこに三十八年も病気で苦しんでいる人がいた。 | |

06 イエスは、その人が横たわっているのを見、また、もう長い間病気であるのを知って、「**良くなりたいか**」と言われた。

07 病人は答えた。「主よ、水が動くとき、わたしを池の中に入れてくれる人がいないのです。わたしが行くうちに、ほかの人が先に降りて行くのです。」

→イエスの問いかけに対する病人の回答は、「はい」も「いいえ」も言わない、ただ心が偏屈になった、他者を非難する、責任転嫁が習性となってしまった心理状態が感じられる。

08 イエスは言われた。「**起き上がりなさい。床を担いで歩きなさい。**」

09 すると、その人はすぐに良くなって、床を担いで歩きだした。その日は安息日であった。

→イエスによる肉体の癒し、心（精神）の癒しが行われている。

10 そこで、ユダヤ人たち（→宗教的指導者／最高法院に属する議員や祭司職、ファリサイ派や他の指導者たちに影響力を持つユダヤ教教師）は病気をいやしていただいた人に言った。

「今日は安息日だ。だから床を担ぐことは、律法で許されていない。」

11 しかし、その人は、「わたしをいやしてくださった方が、『床を担いで歩きなさい』と言われたのです」

と答えた。

→一方的な恵みを受けた二も関わらず、責任転嫁をしている（肉体の癒しの段階で留まっており、魂の癒しは起こっていない）。

12 彼らは、「お前に『床を担いで歩きなさい』と言ったのはだれだ」と尋ねた。

13 しかし、病気をいやしていただいた人は、それがだれであるか知らなかった。イエスは、群衆がそこにいる間に、立ち去られたからである。

14 その後、イエスは、神殿の境内でこの人に出会って（魂の恵みを与えようとして更に）言われた。

「**あなたは良くなったのだ。もう、罪を犯してはいけない。さもないと、もっと悪いことが起こるかもしれない。**」

→この人は、イエスから癒されたにもかかわらず、罪を犯し続けていたので、イエスから警告が与えられた。特定の病を罪の結果と言ってはいけないが、一般的な意味で、罪は病と死の原因とされた。

15 この人は立ち去って、自分をいやしたのはイエスだと、(悪意の気持ちから)ユダヤ人たちに知らせた。

16 そのために、ユダヤ人たちはイエスを迫害し始めた。イエスが、安息日にこのようなことをしておられたからである。

→安息日に、余計なことを行い、結果として、癒した人に床を運ばせるような、安息日の規律に違反することをさせたと、イエスを迫害した。

17 イエスはお答えになった。

「**わたしの父は今もお働いておられる。だから、わたしも働くのだ。**」

→イエスの神性宣言

18 このために、ユダヤ人たちは、ますますイエスを殺そうとねらうようになった。イエスが安息日を破るだけでなく、神を御自分の父と呼んで、御自身を神と等しい者とされたからである。

→ユダヤ人たち（→宗教的指導者／最高法院に属する議員や祭司職、ファリサイ派や他の指導者たちに影響力を持つユダヤ教教師）は、人の命より、口伝律法遵守を重んじた。

※ヨハネによる福音書5章と9章の違い

①共通点 ともに、イエスから見出され、ともに恵みによる癒しを受けた

②違う点 { 5章 責任転嫁、警告、密告、不信仰
9章 事実を証言、犠牲を払う、信仰

→ヨハネによる福音書9:38「主よ、信じます」と言って、ひざまずくと、イエスは言われた。「わたしがこの世に来たのは、裁くためである。こうして、見えない者は見えるようになり、見える者は見えないようになる。」

【参考】 イエスの公生涯での過越祭(ペサハ)

| タイトル(書名) | 章:節 聖句 [検索対象総数: 4 / 聖句等の総数 33250 (過越祭)3個] | 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: 過越祭] |
|-------------|---|--|
| S ヨハネによる福音書 | 2:13 ユダヤ人の過越祭が近づいたので、イエスはエルサレムへ上って行かれた。 | |
| S ヨハネによる福音書 | 5:1 その後、ユダヤ人の祭りがあったので、イエスはエルサレムに上られた。 | |
| S ヨハネによる福音書 | 6:4 ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた。 | |
| S ヨハネによる福音書 | 12:1 過越祭の六日前に、イエスはベタニアに行かれた。そこには、イエスが死者の中からよみがえらせたラザロがいた。 | |

過越祭は、エジプトの奴隷状態にあったユダヤ(=イスラエル)の民が、モーセを通して行われた神の救いのわざによって、エジプトから脱出したことを祝う祭りです。

神はユダヤの民を解放するため、「エジプトの国を巡り、人であれ、家畜であれ、エジプトの国のすべての初子」(→その夜、わたしはエジプトの国を巡り、人であれ、家畜であれ、エジプトの国のすべての初子を撃つ。また、エジプトのすべての神々に裁きを行う。わたしは主である。: 出エジプト記 12:12)を滅ぼされた。その時、神の言葉に従って、「家の入り口の二本の柱と鴨居」(同 12:7)に小羊の血を塗っていたイスラエルの民の家を、神は過ぎ越されました(同 12:13、23)。

「過越祭」(ヘブライ語でペサハ)という名称は、その時の故事に由来するものです。イスラエルの民にとって、このエジプト脱出は、自分たちの先祖の神(ヤーウェ)の救いを体験する根本的な出来事となった。そして、この神の救いのわざを記念するため、イスラエルの民は、ニサンの月の14日(太陽暦では、3月末から4月の初めの頃)に小羊を屠って焼き、種無しパンとともに食べて祝うようになりました(同 12:1~28 参照)。これが過越祭です。

ペサハは英語では「pass over」、日本語では「過ぎ越しのお祭り」などと呼ばれています。

【参考】安息日(Sabbath) ①安息、②第七、③六日、④七日、⑤準備の日、⑥週の初めの日→★印

| | |
|--------|--|
| 創世記 | 02:02 ★第七の日に、神は御自分の仕事を完成され、★第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、★安息なされた。 By the seventh day God had finished the work he had been doing; so on the seventh day he rested from all his work. |
| 創世記 | 02:03 この日に神はすべての創造の仕事を離れ、★安息なされたので、★第七の日を神は祝福し、聖別された。 |
| 出エジプト記 | 12:16 最初の日に聖なる集会を開き、★第七日にも聖なる集会を開かねばならない。この両日にはいかなる仕事もしてはならない。ただし、それぞれの食事の用意を除く。これだけは行ってもよい。 |
| 出エジプト記 | 13:06 ★七日の間、酵母を入れないパンを食べねばならない。★七日目（←除酵祭の7日目）には主のための祭りをする。 |
| 出エジプト記 | 16:05 ただし、★六日目に家に持ち帰ったものを整えれば、毎日集める分の二倍になっている。」 |
| 出エジプト記 | 16:22 ★六日目になると、彼らは二倍の量、一人当たり二オメル（→約2.3ℓ/オメル）のパンを集めた。共同体の代表者は皆でモーセのもとに来て、そのことを報告した。 |
| 出エジプト記 | 16:26 あなたたちは★六日間集めた。★七日目は★安息日だから野には何もないであろう。」 |
| 出エジプト記 | 16:27 ★七日目になって、民のうちの何人かが集めに出て行つたが、何も見つからなかった。 |
| 出エジプト記 | 16:29 よくわきまえなさい、主があなたたちに★安息日を与えたことを。そのために、★六日目には、主はあなたたちに二日分のパンを与えている。★七日目にはそれぞれ自分の所にとどまり、その場所から出てはならない。」 |
| 出エジプト記 | 16:30 民はこうして、★七日目に休んだ。 |
| 出エジプト記 | 20:10 ★七日目は、あなたの神、主の★安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。 |
| 出エジプト記 | 20:11 ★六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、★七日目に休まれたから、主は★安息日を祝福して聖別されたのである。 |
| 出エジプト記 | 23:12 あなたは★六日の間、あなたの仕事を行い、★七日目には、仕事をやめねばならない。それは、あなたの牛やろばが休み、女奴隷の子や寄留者が元気を回復するためである。 |
| 出エジプト記 | 24:16 主の栄光がシナイ山の上にとどまり、雲は★六日の間、山を覆っていた。★七日目に、主は雲の中からモーセに呼びかけられた。 (神は六日間言葉を発せず、七日目に語られた) |
| 出エジプト記 | 31:15 ★六日の間は仕事をする事ができるが、★七日目は、主の聖なる、最も厳かな★安息日である。だれでも★安息日に仕事をする者は必ず死刑に処せられる。 |
| 出エジプト記 | 31:17 これは、永遠にわたしとイスラエルの人々との間のしるしである。主は★六日の間に天地を創造し、★七日目に御業をやめて憩われたからである。 |
| 出エジプト記 | 34:21 あなたは★六日の間働き、★七日目には仕事をやめねばならない。耕作の時にも、収穫の時にも、仕事をやめねばならない。 |
| 出エジプト記 | 35:02 ★六日の間は仕事をする事ができるが、★第七日はあなたたちにとって聖なる日であり、主の最も厳かな★安息日である。その日に仕事をする者はすべて死刑に処せられる。 |

| | |
|-----------|--|
| レ ビ 記 | 23:03 ★六日の間仕事をする。★七日目は最も厳かな★安息日であり、聖なる集会の日である。あなたたちはいかなる仕事もしてはならない。どこに住もうとも、これは主のための★安息日である。 |
| レ ビ 記 | 23:08 ★七日の間、燃やして主にささげる献げ物を続けて、★七日目に聖なる集会を開く。いかなる仕事もしてはならない。 |
| 民 数 記 | 28:25 ★七日目（←除酵祭の7日目）には、聖なる集会を開く。いかなる仕事もしてはならない。 |
| 申 命 記 | 5:14 ★七日目は、あなたの神、主の★安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、牛、ろばなどすべての家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。そうすれば、あなたの男女の奴隷もあなたと同じように休むことができる。 |
| 申 命 記 | 16:08 ★六日間酵母を入れないパンを食べ、★七日目にはあなたの神、主のために聖なる集まりを行い、いかなる仕事もしてはならない。 |
| マタイによる福音書 | 27:62 明るる日、すなわち、★準備の日の翌日、祭司長たちとファリサイ派の人々は、ピラトのところに集まって、 |
| マタイによる福音書 | 28:01 さて、★安息日が終わって、★週の初めの日の明け方に、マグダラのマリアともう一人のマリアが、墓を見に行った。 |
| マルコによる福音書 | 15:42 既に夕方になった。その日は★準備の日、すなわち★安息日の前日であったので、 |
| マルコによる福音書 | 16:02 そして、★週の初めの日の朝ごく早く、日が出ると（マグダラのマリアともう一人のマリアが、）すぐ墓に行った。→微妙な表記の違い：ヨハネ 20：01 |
| マルコによる福音書 | 16:09 [イエスは★週の初めの日の朝早く、復活して、まずマグダラのマリアに御自身を現された。このマリアは、以前イエスに七つの悪霊を追い出していただいた婦人である。 →復活についての具体的な表記は、この聖句箇所のみである。 |
| ルカによる福音書 | 23:54 その日は★準備の日であり、★安息日が始まろうとしていた。 |
| ルカによる福音書 | 24:01 そして、★週の初めの日の明け方早く、準備しておいた香料を持って墓に行った。 |
| ヨハネによる福音書 | 19:31 その日は★準備の日で、翌日は特別の★安息日であったので、ユダヤ人たちは、★安息日に遺体を十字架の上に残しておかないために、足を折って取り降ろすように、ピラトに願い出た。 |
| ヨハネによる福音書 | 19:42 その日はユダヤ人の★準備の日であり、この墓が近かったので、そこにイエスを納めた。 |
| ヨハネによる福音書 | 20:01 ★週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。 |
| ヨハネによる福音書 | 20:19 その日、すなわち★週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。 |
| ヘブライ人への手紙 | 04:04 なぜなら、ある個所で★七日目のことについて、「神は★七日目にすべての業を終えて休まれた」と言われているからです。 |

【参考】 曜日の始まりは？ 日曜日・月曜日・土曜日？

日曜日はじまり（日曜日ができたのは、明治時代から）

宗教的意味における週の始め（週の始めは、「主の栄光の日」である日曜日から始まるべきという考え）。

キリスト教・ユダヤ教などでは、週の始まりは日曜日です。

日曜日始まりの理由は宗教的な理由で、ユダヤ歴（暦の起源は BC18 世紀頃、古代バビロニア帝国の時代。1582 年にローマ法王グレゴリオ 13 世が、より精度の高い暦に改暦（グレゴリオ暦）、1872 年〈明治 5 年〉に日本採用。）から来ていると言われています。一般的に、日本では週初めは日曜日とされている。

| | 表記で使用 | 会話で使用 |
|---|-------|----------------------|
| 日 | א (日) | יום ראשון (ヨム・リション) |
| 月 | ב (月) | יום שני (ヨム・シェニー) |
| 火 | ג (火) | יום שלישי (ヨム・シュリシー) |
| 水 | ד (水) | יום רביעי (ヨム・レビイー) |
| 木 | ה (木) | יום חמישי (ヨム・ハミシー) |
| 金 | ו (金) | יום שישי (ヨム・シシー) |
| 土 | ז (土) | יום שבת (ヨム・シャバット) |

ユダヤ歴では金曜日の日没～土曜日の日没までを安息日（第七日目）としているため、次の日、つまり、日曜日が週の始まりになりました。現在においても、イスラエルはユダヤ歴を公式の暦として採用しており、国の公式行事やユダヤ教の祝日はユダヤ暦で行っています。ユダヤ暦の年は、西暦に 3760 年を足した年数に等しい。

※創生紀元、ユダヤ起源：天地創造、アダムの誕生：BC3761 年 10 月 7 日

※安息日は金曜日の日没に始まり、土曜日の日没に終わる。

→参考聖句：夕べがあり、朝があった。（創世記 1 : 5b、1 : 8b、1 : 13a、1 : 19a、1 : 23a、1 : 31c）

※労働基準法上は特に決まっていますが、就業規則などで決めていなければ、日曜日が週の始まりと解釈されています（労働省労働基準局長名通達 昭和六三年一月一日 基発第一号、婦発第一号）。

月曜日はじまり

慣用的？日曜が休日と成って以降、「働きはじめる日」という意味で使われるようになったものと思われる。

ISO 8601（日付と時刻の表記に関する国際規格、「2000 年 1 月 1 日を土曜日とする」と定義）では、月曜日が週の始まりとされている。イギリスでは 1971 年に国際標準化機構の決議（ISO 8601）を採用し、月曜日を週の始まりとしました。そこからヨーロッパ中で週の始まりは月曜日となりました。

日本では週休 2 日制が、月曜始まりのカレンダーが増えたきっかけとされています。

※日本で曜日の順列を明確に定めているものには JIS 規格（JIS X 0301）があり、「01:月曜日、02:火曜日、03:水曜日、04:木曜日、05:金曜日、06:土曜日、07:日曜日」と規定されています。

また、気象庁では週末を「土、日曜日」としています。

ヨーロッパではイギリスが 1971 年に国際標準化機構（ISO）の決議を採択し、月曜日を週のはじまりとしました。同様に、ヨーロッパでは週の開始を月曜日とする国が増えました。

アメリカでは、壁掛けや卓上のカレンダーを見るかぎり、日曜はじまりが圧倒的多数です。

土曜日はじまり 曜日の概念が生まれたとされる古代バビロニアでの週の始め。

◆曜日・由来等

| | フランス語 | スペイン語 | 由来 | 英語 | スウェーデン語 | ドイツ語 | 由来 |
|---|----------|-----------|------|-----------|---------------------|-----------------------|--------|
| 日 | Dimanche | domingo | 主の日 | Sunday | sondag | Sonntag | 太陽の日 |
| 月 | lundi | lunes | 月の日 | Monday | mandag | Montag | 月の日 |
| 火 | Mardi | martes | 火星の日 | Tuesday | tisdag | Dienstag | ティル日 |
| 水 | Mercredi | miercoles | 水星の日 | Wednesday | onsdag | Mittwoch ² | オーディン日 |
| 木 | Jeudi | jueves | 木星の日 | Thursday | torsdag | Donnerstag | トールの日 |
| 金 | Vendredi | viernes | 金星の日 | Friday | fredag | Freitag | フレイア日 |
| 土 | Samedi | sabado | 安息日 | Saturday | lordag ¹ | Samstag ³ | 土星の日 |